（別紙様式例4）

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和　8年　2月　27日

事業所名:　　ゆいまーるわんぴーす

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた改善内容・改善目標
			はい	どちらとかといえば	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとかといえば	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	6	2	0	利用定員に応じて活動スペースを分けて可動式机などを活用することで、高学・小集団活動の切り替えがしやすい環境を整えています。	20	0	0	0	部屋がたくさんあり、落ち着けるスペースがある。	活動内容や利用者様の人数に応じたスペースの使い分けや工夫に努めています。
	2	職員の適切な配置	7	0	1	利用定員や利用者様の特性に応じて職員配置を調整し、活動内容に応じた役割分担を行うことで、安全に配慮した支援体制を整えています。	16	0	0	4		利用者様の人数や利用者様の特性に応じた支援内容に合わせて職員の配置を行っています。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	6	2	0	活動ごとにスペースを分けて、利用者が見通しを立てやすいように環境を整えています。	19	0	0	1		障がい特性や年齢の幅に より分かりこいことともあるため、掲示物や支援ツールの見直しを行い、より多様な特性に対応できる環境づくりを進めます。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	8	0	0	清掃と換気を行い、整理整頓を心がけることで、清潔で安心して過ごせる環境を維持しています。活動に応じて机や備品の配置を工夫し、落ち着いて過ごせる生活空間を確保しています。	19	0	0	1		清掃・整理整頓をさらに徹底して、安心安全な生活空間を確保していきます。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参加	5	3	0	定期的なミーティングや振り返りの機会を設け、支援内容や業務について意見交換を行い、PDCAサイクルを意識した業務改善に職員が参画できるように心がけています。					PDCAサイクルについて職員に理解してもらい課題的な参画に繋げていきます。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	0	0	8	現在、第三者による外部評価は実施していませんが、職員間での自己評価や振り返りを通して、支援業務の質の向上に努めています。					第三者による外部評価は実施についての職員の理解を徹底していきます。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	8	0	0	外部研修への参加機会を増やし、計画的に研修を実施することで、より専門性の高い支援が行えるよう職員の資質向上を図ります。					これからも引き続き研修に参加し、支援のための職員の資質向上を目指します。
適切な支援の提供	1	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	8	0	0	利用者様一人ひとりの特性や発達段階に応じて支援プログラムを作成し、保護者様に分かりやすい形で内容を共有・公表しています。	19	0	0	1		引き続き適切に支援プログラム作成・公表に努めていきます。
	2	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	8	0	0	面談や日々の支援記録をもとにアセスメントを行い、利用者様本人の様子と保護者様のニーズを踏まえて、客観的な視点で支援計画を作成しています。	20	0	0	0		適切なアセスメントを行えるように、保護者様や利用者様のニーズを適切に聞き取り、分析できるようにかけていきます。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	7	1	0	支援内容が抽象的にならないよう、目標や方法を具体化し、職員間で共通理解を図れる計画となるよう継続的に見直しています。	20	0	0	0		引き続き利用者様の支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載に努めます。
	4	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	7	1	0	活動の切り替えが難しいこともあるため、より柔軟な計画設定や振り返りを行い、利用者様一人ひとりにあったサービス計画書の作成に努めています。					利用者様の状況を理解し、必要に応じて個別活動と集団活動を組み合わせた計画を作成するようになった努めています。
	5	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	8	0	0	計画と実際の支援内容に差が生じないよう、定期的な振り返りと情報共有を強化し、より計画に沿った一貫性のある支援実施を目指します。	19	1	0	0		計画を職員間で共有し、職員間で統一した適切な支援の実施に努めています。
	6	チーム全体での活動プログラムの立案	7	0	1	職員間で意見交換を行い、利用者様の実態や目標を共有しながら、チーム全体で活動プログラムを立案しています。					活動プログラムは、職員間で意見を出し合い利用者様のニーズや興味・特性などを考慮して、立案しています。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	6	2	0	季節行事や利用者様の興味・関心を取り入れ、内容に変化を持たせることで、活動プログラムが固定しないよう工夫しています。	18	2	0	0	多種多様なイベントで楽し飽きない工夫をしてくれている。	活動が1部固定しているものもありますが、マンネリにしないように、職員間で月毎にアイディアを出し合って、プログラムの見直しや調整を行っています。
	8	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	7	1	0	平日、休日、長期休暇それぞれの生活リズムや活動時間に配慮し、無理のないスケジュールで支援内容を調整しています。					利用者様の体調や状況・生活リズムに左右される事があるので、いち早く共有し、必要に応じて課題を見つけ、細やかな支援を行っていきます。
	9	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	8	0	0	支援開始前にミーティングを行い、その日の支援内容や利用者様の状況、職員の役割分担を確認し、共有・理解を図っています。					支援開始前にミーティングを行い、その日に行う支援内容や役割分担について確認・共有し、必要に応じて相談しながら支援をしていきます。
	10	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	8	0	0	支援終了後に職員間でその日の振り返り、利用者様の変化や気付いた点を記録・共有しています。記録の充実や共有方法の工夫を行い、継続的な支援の質向上に繋げていきます。					支援終了後ミーティングを行い、その日の支援について話し合っています。また共有内容を記録し、次の支援に活かせるようにしています。
	11	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	8	0	0	利用者様の変化や支援の成果・課題などを把握しながら、より正確で分かりやすい記録を行っていると言えないので、記載内容の見直しや振り返りの機会を設け、支援内容の検証と改善に取り組んでいきます。					支援を日々記録し、検証・改善につなげ、記録の視点や方法を統一することで、より質の高い支援ができるようにしています。
	12	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	8	0	0	定期的なモニタリングを行えるよう工夫し、モニタリング結果を具体的に計画に反映できるよう、評価内容の整理や職員間の共有を行っていきます。					定期的なモニタリングを通して、支援の効果や利用者様の変化を確認していますが、評価の視点を整理し、より適切な計画の見直しをしていきます。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	8	0	0	利用者様の担当を決めることにより、利用者様の状況をよりよく把握している職員がサービス担当者会議に参画しています。また、事前の情報整理や職員間での共有を行っています。					利用者様の支援に日常的に関わっている職員が参画しています。情報整理や職員間での共有を強化し、支援内容を適切に保護者様に伝えられるようにします。
	2	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	0	8	0	今のところ医療的ケアが必要な利用者様や重症心身障害のある利用者様等はおられませんが、必要に応じて連携支援の実施を行う体制を整えています。					今のところ医療的ケアが必要な利用者様や重症心身障害のある利用者様等はいらっしゃいません。 必要に応じて連携支援の実施を行います。
	3	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	0	8	0	今のところ医療的ケアが必要な利用者様や重症心身障害のある利用者様等はいらっしゃいません。 必要に応じて連携支援の実施を行います。					今のところ医療的ケアが必要な利用者様や重症心身障害のある利用者様等はいらっしゃいません。 必要に応じて連携支援の実施を行います。
	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学級）等との間での支援内容等の十分な情報共有	7	1	0	関係機関との円滑な移行支援のための情報共有は十分とは言えませんが、必要に応じて行っています。今後は円滑な移行支援につながる連携体制を検討していきます。					必要に応じた関係機関との連携、情報共有は行っていますが、情報共有の体制が整っていないので、必要に応じて検討していきます。
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	4	4	0	移行時には、支援内容や利用者様の様子について必要最低限の情報提供を行っています。より円滑な移行につなげるため、事前等を活用した分かりやすい情報提供を検討していきます。					移行事業所へは情報提供は行っていますが、更に情報提供の様式や共有手順を整理し、円滑な移行支援に繋げていきます。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	5	2	1	現時点では専門機関との連携や研修受講は十分に行えていません。必要に応じて連携や専門研修への参加に努めます。					専門機関の相談窓口や研修状況を把握して助言や研修を受ける機会を設け、支援の質の向上に繋げられるよう考えていきます。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	4	3	1	今後は、放課後児童クラブや児童館などの交流について、子どもの特性や安全面、受け入れ体制を十分考慮しながら、実施の可否などについて検討していきます。	8	3	0	9	eスポーツやサンアビ 等があり、良いと思います。	利用者様の発達段階や特性に配慮しながら、交流の内容や交流相手や交流頻度などを検討し、安心して参加できる体制作りを考えていきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	0	5	3	事業所への行事への地域住民の招待は行っていませんが、日頃から近隣住民への挨拶や配慮を心がけ、また祭りへの参加など地域との良好な関係づくりに努めています。					利用者様の安全確保や個人情報の配慮を優先し、地域住民の方との交流には至っていませんが、今後は必要に応じて地域との交流についても検討していきます。

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた改善内容・改善目標
			はい	どちらとかといえば	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとかといえば	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	6	2	0	契約時や見学時に書面を用いて説明し、必要に応じて口頭で補足を行っています。また、保護者様からの質問には随時対応し、理解して頂けるように努めています。	20	0	0	0		これからも引き続き契約時や必要に応じて保護者様に丁寧な説明を行い、理解して頂るように努めています。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	7	1	0	放課後等デイサービス計画を示しながら、支援の目的や内容について保護者様に丁寧に説明し、理解を得られるよう努めています。必要に応じて、個別に説明の機会を設けています。	17	1	0	2		放課後等デイサービス計画を示しながら、支援の目的や内容について保護者様に丁寧に分かりやすく説明し、理解を得られるよう努めています。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	1	7	0	今後、職員研修の受講や外部機関との連携を検討し、ペアレント・トレーニング等の支援が実施できる体制づくりを課題としています。	11	4	0	5	その都度対話してもらえるので困らない。	今後、職員研修の受講や外部機関との連携を検討し、ペアレント・トレーニング等の支援が実施できるように検討していきます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	8	0	0	日頃から送迎時やサービス提供記録、面談を通して、利用者様の発達の状況や課題について保護者様と情報共有を行い、共通理解が図れるように努めています。	20	0	0	0		これからも送迎時やサービス提供記録、面談を通して、利用者様の発達の状況や課題について保護者様と情報共有を行い、共通理解を図っていきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	6	2	0	送迎時や面談、連絡帳等を通して、保護者様の子育ての悩みや相談に丁寧に対応し、状況に応じて助言や情報提供を行っています。	15	2	1	2		保護者様からの子育てに関する相談には日常的に応じて、できる限りお要な助言や支援を行わせて頂いていますが、今後も相談しやすい体制作りに努めていきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	1	6	1	保護者会は開催させて頂くことがありますが、保護者様同士の連携支援は現在実施していませんが、個別の相談対応や日常の情報共有を通して、保護者様の不安軽減に努めさせて頂いています。	18	0	0	2	参加した事は無いが、お知らせなどしてくれている。話し合いの場があれば、また教えて頂きたい。	保護者様が安心して保護者会等に参加できるように配慮しながら、交流の機会を設け、保護者様同士が適切な関係づくりを行えるようにしていきます。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	7	1	0	苦情に対応するための体制を整備し、保護者様等に周知しています。苦情があった場合には、速やかに状況を確認し、適切な対応を行うよう努めています。	16	0	0	4		苦情があった場合には、迅速かつ適切な対応をむけが、支援等の改善に繋げていきます。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	6	2	0	利用者様の特性に応じて、分かりやすい言葉や視覚的な支援を用いながら意思疎通を図っています。また、保護者様に対しては、サービス提供記録や口頭説明等を活用し、情報が正確に伝わるように配慮しています。	18	0	0	2		口頭説明だけでなく、視覚的にまた意思を活用し、分かりやすく利用者様や保護者様との意思疎通や情報伝達できるように配慮していきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	6	2	0	定期的に会報を発行し、連絡体制や行事予定、連絡体制等について、利用者様や保護者様へ分かりやすく情報発信を行っています。	17	1	0	2	アプリ（HUG）の導入で便利になった。	定期的に会報を発行やアプリ（HUG）での連絡体制やや事予定、連絡体制等について、利用者様や保護者様へ分かりやすく情報発信を周知徹底していきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	8	0	0	個人情報については、持ち出しの制限を行い、職員間で取り扱い方法を共有する等、適切な管理に努めています。	17	1	0	2		書類やデーターの管理、職員間での取り扱いルールを定め、適切に管理しています。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	6	2	0	職員や保護者様への周知は十分とは言えないので、定期的な見直しや研修等を通して、職員の理解を深め、実効性のある対応ができるように努め、周知を徹底していきます。	16	1	0	3		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル感染症対応マニュアルの策定について、職員や保護者様への周知が不十分なので、機会を設け周知徹底していきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	6	2	0	定期的な訓練は実施しています。想定する災害の種類に応じて、訓練内容の充実を図り、より実践的な対応ができるよう検討していきます。	15	1	0	4		より実践的な訓練ができるように、訓練内容など見直していきます。
	3	服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況の確認の実施	7	0	1	保護者様からの聞き取りや書面を通して情報を把握し、職員間で共有することで、適切な対応ができるよう努めています。	18	1	0	1		利用者様の健康状態については、保護者様から様々な情報を提供して頂き、適切に反応できるようにむけていきます。
	4	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	5	1	2	現在、医師の指示書の提出がある利用者様はいませんが、保護者様からの聞き取りにより食物アレルギーの有無を確認し必要に応じて配慮を行っています。今後食物アレルギーがあるお子が利用する場合は、医師の指示書に基づいた対応できるよう受け入れ体制や対応手順の整備を進めています。						必要に応じて保護者様から利用者様の医師の指示書の提供を頂き、対応していきます。
	5	安全管理の徹底	6	2	0	日常の支援や活動において、環境整備や危険箇所の確認を行い、職員間で情報共有することで、安全管理の徹底に努めています。今後は、点検や確認の頻度を見直すと共に、研修等を通して職員の安全意識の向上を図っていきます。	20	0	0	0		安全計画を作成し研修等行っていますが、十分な周知が行われていないので、周知を徹底していきます
	6	家族等との連携を図るため、安全計画に基づく取組内容についての家族等への周知	5	3	0	安全計画については、今後より分かりやすい説明方法の工夫や周知の機会を増やすことで、家族様との連携をさらに深めていきます。	17	1	0	2		安全計画を充分に理解する事で、家族様の連携と取り組み内容について周知できるように努めています。
	7	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	6	2	0	ヒヤリハット事例を記録し、事業所内で共有することで、再発防止と安全意識の向上に努めています。今後は、事例の整理や活用方法を工夫し、職員間での共有を徹底していきます。						ヒヤリハット事例を作成していますが、職員間での共有が不十分なので、事例の徹底を行い改善できるように努めています。
	8	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	8	0	0	研修内容の振り返りや事業所内での共有を強化し、実践的な虐待防止体制の構築を図っています。						虐待は分かりにくい部分があるので、職員間で意見を日常的に交換しながら、虐待防止を徹底していきます。
	9	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	4	4	0	現在身体拘束を行う利用者様はいませんが、必要な際は、組織的に検討・決定を行い、利用者様や保護者様に対して事前に十分な説明を行い、同意を得た上で放課後等デイサービス計画へ記載します。						必要な際は、組織的に検討・決定を行い、利用者様や保護者様に対して事前に十分な説明を行い、同意を得たとで放課後等デイサービス計画へ記載を行っていることを知らない職員がいたので、周知しています。